



# 和土小だより



児童数	男子	98名
	女子	75名
	総計	173名

発行責任者 校長 辻 美由紀



## 「多様性と調和」とは…

校長 辻 美由紀

長い夏休みを終え、感染症の収束を期待しておりましたが、感染力の強い変異株の出現等により、一層厳しい状況となっております。本日は、和土小学校でも体育館で一堂に会することをせず、テレビ放送による始業式といたしました。ご案内のとおり、現在の感染拡大の状況に鑑み、希望する方には、ご自宅でのオンライン授業を交えての対応としております。2学期は、行事も多く予定されているところですが、その実施に際しましても、行い方の工夫や時期の変更等、様々な検討に入っているところです。これまでと同様に、学校HPや安心メール等を活用して皆様と情報を共有し、教育活動を進めていきたいと考えております。

さて、夏休みは、和土っ子達、そして保護者・地域の皆様は、いかがお過ごしでしたでしょうか。私は、オリンピックの熱戦を連日テレビで観戦しておりました。日本の代表選手の活躍も大変嬉しく、心躍るものでしたが、一年の延長を経て、練習を重ね、この状況の中、日本に来てくれた海外の選手達の姿も胸に迫るものがありました。皆様は、どんな種目、どんな選手の姿が印象に残っているのでしょうか。スポーツのもつ力に純粋に感動しながら、一方でモヤモヤと考えていたことがあります。それは、東京大会のコンセプトとして掲げられていた「多様性と調和」ということです。ジェンダー平等や外国とつながりのある方々のこと、パラリンピックでは障がい者の方々…「多様性」という言葉と共に取り上げられていましたが、そもそも「私とあなた」と人が二人集えば、好みや考え方の違いは当然出てくるものであり多様性とは、その延長線上にあるものなのではないでしょうか。声高らかに「多様性を認めよう」と言わずとも、隣の友達のことを「あなたはそうなんだね」と思うことができれば、そして、「私の考えもいいと思うけどあなたもいいね」となれば、子ども達の明るい未来にもつながるのではないのでしょうか。このような視点に自然に立つことができれば、「調和」がとれ、私もあなたもみんなよし、ということになるのでしょうか。私自身、この考えは大切、と思いながらも、実際には受け入れることができていないんだな、と感じる場面も多々あります。何かの記事に、東京大会は、多くの日本人が大切なことに気付くきっかけになれば…とあったことを思い出します。多様性＝みんなちがって、みんないい。シンプルなこの思いを私の好きな金子みずぶさんの「わたしと小鳥とすずと」は、やさしい言葉でこれを示しているな、と改めて素敵な詩だ、と読み直したところです。

わたしと小鳥とすずと

金子 みずぶ

わたしが両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのよう、  
地面(じべた)をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしのよう、  
たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。

本市では、今年9月が「いじめ撲滅強化月間」です。各学級でスローガン作成などの取組も行いますが、和土っ子達にもこの思いが広がることで、いじめもなくなるのではないかと考える次第です。「実りの秋」に向け、和土小学校にも「やさしさ いっぱい」実るよう願っています。

ワクチンの接種も進んできておりますが、子ども達にも感染する例が多く聞かれるようになりました。感染症対策については、校内でも改めての見直し、追加で取り組めることの検討等、万全を期するよういたします。保護者、地域の皆様も、お身体には十分ご自愛ください。引き続き、ご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

**未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成**

○やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子

やさしさいっぱい 力いっぱい やる気いっぱい

